きのこ通信008

2011 年 8 月 16 日

文　幸徳伸也

「エリマキツチグリは“えり巻き”を気にしない」

今回の通信は、エリマキツチグリというキノコについてのお話しです。

エリマキ（襟巻き）という名前に翻弄されてはいけません

翻弄されてはいけないというのは、一体、どういうことでしょうか？

その前に、エリマキツチグリというキノコを皆さんはご存知でしょうか？

正直なところ、エリマキツチグリはあまり有名ではないキノコの部類に入ります。
そのため知らないかたも多いかと思います。

エリマキツチグリは、分類学的に言えば、ヒメツチグリ科ヒメツチグリ属のキノコです。
ヒメツチグリ科ヒメツチグリ属と言うと、ちょっと堅苦しくなりますね。
そこで、言い換えて、ヒメツチグリの仲間と呼ぶようにします。

ヒメツチグリの仲間は一体どんなキノコなのでしょうか？
そこで、通信００３で紹介した「日本のきのこ」を確認してみます。
ヒメツチグリの仲間は５０６～５０７ページに掲載されています。

日本のきのこに掲載されているヒメツチグリの仲間

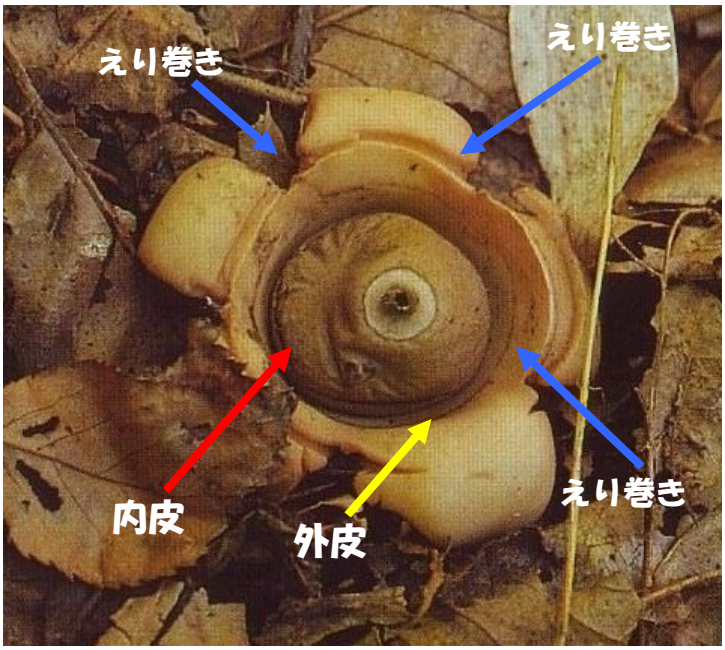
ヒメツチグリの仲間はちょっと変わった形をしていますね。

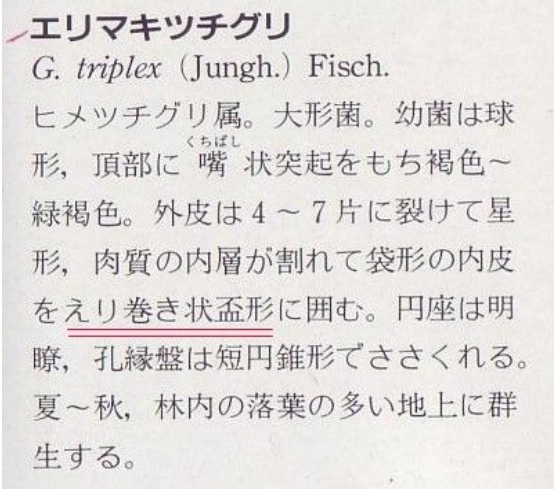
ヒメツチグリの仲間がどういうキノコなのか気になると思います。
しかし、ここでは、そのことは省略させていただきます。
また、次回以降の通信にご期待ください。

さて、「日本のきのこ」にはエリマキツチグリが掲載されているのでしょうか？

さきほど申しましたように、ヒメツチグリの仲間は有名ではありません。
ですが、ヒメツチグリの仲間の中では、名前と形が変わっているエリマキツチグリが一番有名です。
そのため、図鑑にはよく掲載されています。
もちろん、「日本のきのこ」にも掲載されています。
そこで、「日本のきのこ」のエリマキツチグリの写真と解説を拡大してみます。

「日本のきのこ」のエリマキツチグリの写真と解説




エリマキツチグリ
G. triplex (Jungh.) Fisch.
ヒメツチグリ属。大形菌。幼菌は球形，頂部に嘴（くちばし）状突起をもち褐色～緑褐色。外皮は4～7片に裂けて星形，肉質の内層が割れて袋形の内皮をえり巻き状盃形に囲む。円座は明瞭，孔縁盤は短円錐形でささくれる。夏～秋，林内の落葉の多い地上に群生する。

●青色の矢印で示したのがえり巻き
●黄色の矢印で示したのが外皮
●赤字の矢印で示した内皮

エリマキツチグリはちょっと誤解されているところがあります。
それはどこかと言えば、“エリマキ”という名前にあります。

写真右側の解説を見ると、「えり巻き状杯形に囲む」と書かれている部分がありますね。

これは、どういう事でしょうか？

まず、外皮の表面が裂けてえり状となります。
すると、裂けた外皮のえり状の部位が、内皮を囲んでいるようになります。
ということは、外皮の表面が内皮を囲むような形をしているため、えり巻き状に見えます。

こういうことですね。

「エリマキツチグリはえり巻き状という変わった形の特徴をしていて覚えやすい！」
と思ったりしませんでしたか？。

しかし、えり巻きに騙されてはいけません。

えり巻きがないエリマキツチグリもあります

この下の写真はすべてエリマキツチグリです。

どうですか？
えり巻きはありますか？
右上の写真はややえり巻き状になっていますが、それ以外はえり巻きがありませんよね。

えり巻きは外皮が反り返らないとできないみたいです。
ということは、写真のように、まだ、若い状態ではえり巻きにはなりません。

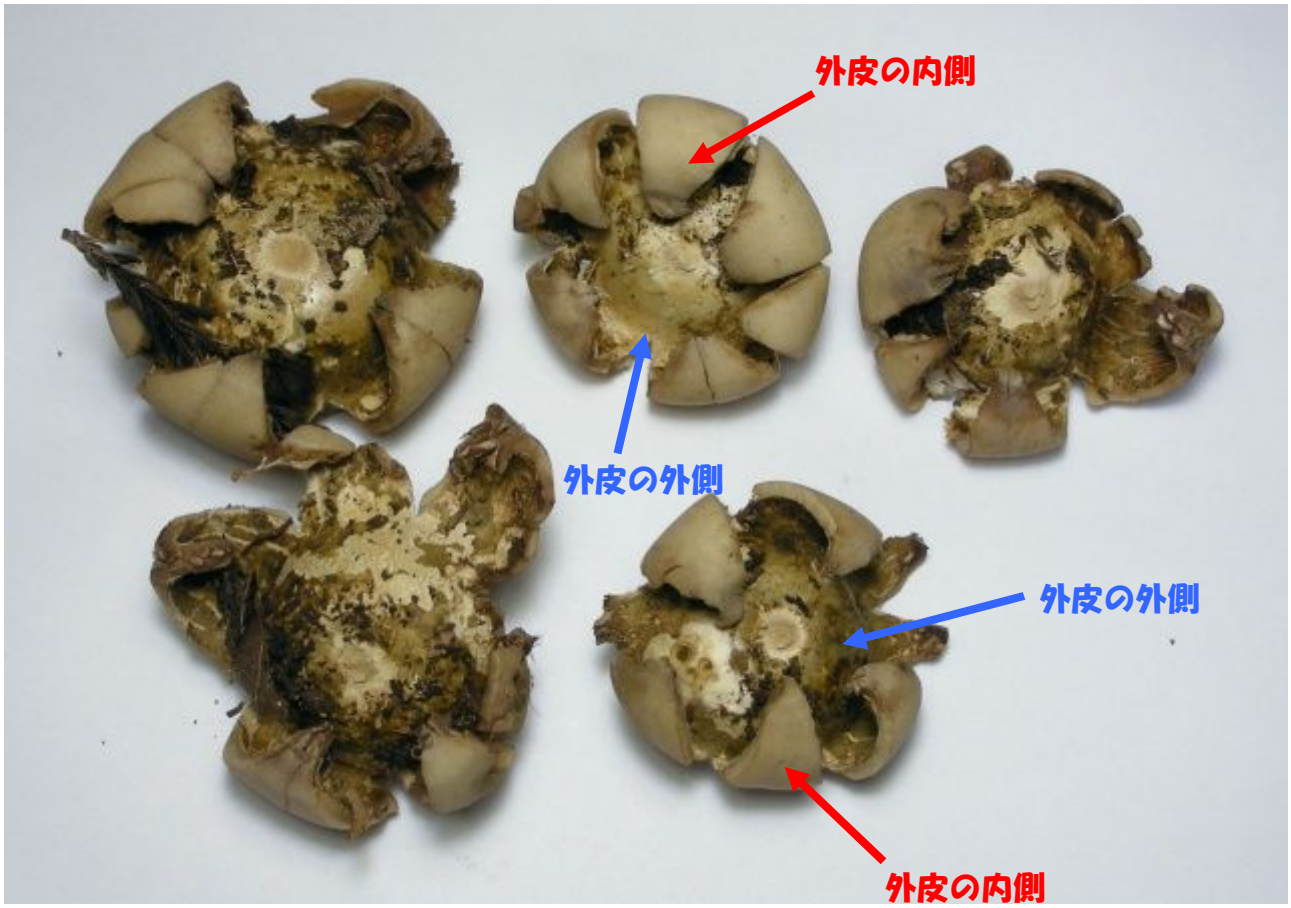
そうすると、えり巻きがない状態でどこを見てエリマキツチグリと見分ければいいのでしょうか？

それは外皮の外側の色です

ヒメツチグリの仲間は外皮の外側の色が結構重要な特徴です。
ヒメツチグリの仲間は、裏返して、外側の色が何色なのかを確認してください。

エリマキツチグリの外皮の外側の色は緑色系です

エリマキツチグリの外皮の外側の写真です



写真ではわかりにくいかもしれませんが、緑色を帯びていますよね。
これがエリマキツチグリの大きな特徴です。

わかりやすいように、ヒメツチグリの仲間のヒナツチガキというキノコと比べてみました。

エリマキツチグリ

ヒナツチガキ

エリマキツチグリは緑色系、ヒナツチガキは赤茶色系です。
全然違いますね。

エリマキツチグリはえり巻きよりも外皮の外側の色が重要です。

日本のヒメツチグリの仲間の中で、外皮の外側の色が緑色系のものは、エリマキツチグリだけのようです。

今回のエリマキツチグリのように、キノコの名前は変わった名前もたくさんあります。
エリマキツチグリの他では、ヌルデという木以外にも発生するヌルデタケというキノコがあります。
「ヌルデタケに似ているけど、ヌルデ以外の木から発生しているから違うのかな～」
と、名前が特徴的であるとその名前に翻弄されてしまうこともよくあります。
「エリマキがないから、エリマキツチグリではないのかな～」
エリマキツチグリの場合は“エリマキ”というその名前に翻弄されてしまいますね。

名前はキノコを覚えるために必要ですが、その名前がキノコの一番の特徴を表しているわけではありません。
名前に惑わされず、図鑑に記述されているキノコの特徴を確認するようにしましょう！

エリマキツチグリは外皮の外側が緑色かどうかを確認してください

えり巻き”は気にしなくてもいいですよ(^^)